

埋もれた価値を知ってほしい、西浅らしさを発掘する

Volume

57

2022  
February

TAKE  
FREE



# 西浅の西浅

NISHIASA NO NISHIASA



特集

## 鯪<sup>ぶり</sup>大根

美味しい旬のお魚

うおがし通信

### ぶり大根

**ぶ**りも大根も寒い時期がおいしい食材です。ぶりの本場

能登半島ではみぞれや雪が降り、海が大荒れの日を「ぶり起こし

”といつて、”こんな日にはブリの群れが湾内に入ってくる日だ”

と地元の漁師は言います。魚屋としては言いにくいのですが大根が

主役のようで美味しいですね！勿論ぶりから美味しいだしが取れるからですが寒い時期には最高

ですね。使うのはぶりの頭や中骨などぶりアラやぶりカマでOKで

すが切身なら上品に仕上がりますが味も上品でしょうね。煮付は

各家庭で色々なやり方があると思いますが講談社の「旬の魚料理」という本から抜粋して書いて

おきます。\*鍋の水に昆布と輪切りの大根を入れて火に掛けます。

\*沸騰したら昆布を取り出し、ぶりを入れます。\*煮立ってきたら

あくを取り除き、しょうゆと酒、砂糖、味醂で味を調えます。\*汁

気がなくなるまで弱火で煮詰める。煮付に掛るまでのぶりの調理は魚屋にお任せください。

取締役会長・児玉保次



× SDGs

これからシリーズ化して発信していきます！



変わる人から変わらましょ

未来をあなたと西浅と。

シンボルマーク解説



シンボルマークは魚と人、地球をモチーフに構成。鱗をイメージした色彩構成にはSDGsカラー17色をあしらい、西浅ロゴの「浅」に使われている1色を加え、西浅の取り組みで地球と魚と人の未来を明るくする想いを表現しました。

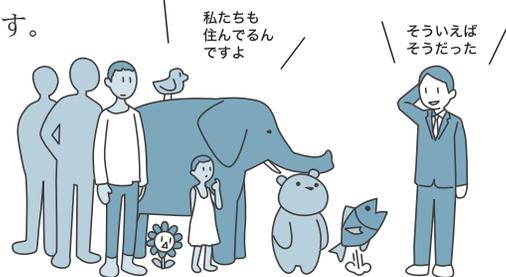


西浅がSDGsに取り組む理由

自然への愛、人権、経済的公正、平和な文化の上に築かれる持続可能な地球社会を生み出すことに目を向け、自分たちが参加できることから始めることに意味があると考え、取組を行います。

私たち世代は、後世に残す未来の在り方を真剣に選択しなければならない 重大な時期にさしかかりました。後世の人々に私たちの世代の“判断と行動が正しかった”と言われるような行動をするためには、顧客のためだけの目線ではなく、「地球目線」と「未来視点」での判断や決断が必要です。私たちは地球に暮らす地球人という家族であることを認識して、この地球を大切にしなければいけません。これまでの豊かな社会をつくりあげてくれた私たちの先

祖が未来を想ったように私たちが未来世代に対して、どのような行動をとるのか。ひとりひとりが未来を見つめて、地球に対して感謝の気持ちをもって行動していくことが大切だと思います。



SDGsシリーズ初回は“ジェンダー問題”です。西浅で働く「山田 恵」にインタビューしました。彼女が西浅で働き続けられる理由や、お客様に信頼される理由を取材し、西浅で働く女性の魅力を発信したいと思います。



ける商品への近道は、従業員の意見に男女関係なく耳を傾けることだと考えています。従業員全員がお客様に“喜んでもらえる商品”を目指して制作しているからこそ、食卓をイメージした、お客様が“嬉しい”と感じる商品ができます。

女性が働きやすい職場を目指して

山田さんは「西浅は自分の頑張りでも上を目指することができる会社」と感じています。西浅は「女性だから」「まだ経験が浅いから」「家庭があるから」という理由で、働く人の可能性を割り切るのではなく、西浅としてどうしたら従業員の“なりたい自分”に近づくことができるか考えています。西浅の今後の目標の中には“女性の働き方”そのものを見直し職場での男女平等な働き方を目指します。という項目が設けられています。何かを決める時は、男性と同じように会議に参加したり、リーダーになったりできるようにして、制度の整備や社内教育プログラムなどを進めて女性の求める“働きやすさ”を整える活動を目標にしています。



魚に携わる仕事を始めた原点は父と料理をした幼少期

私が初めて魚を捌いたのは小学生の時です。父が趣味で買ってきた丸魚を捌いたのがきっかけでした。父は仕事柄、朝が早く夜が遅い人だったので親子のコミュニケーションが取れる時間は、台所で料理をしている時でした。私はその時間が好きで父の背中をよく見ていました。魚を捌いている父の背中が特別かっよかったよ見え、小学生の時に見様見真似で魚を捌き、魚を調理する楽しさを初めて知りました。

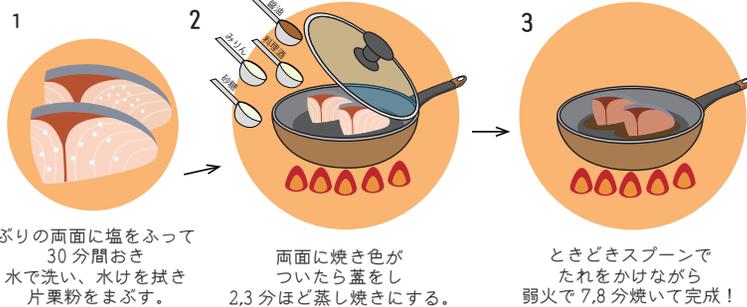
お客様に喜んでもらえる商品を作れることが一番のやりがい

彼女の仕事でのやりがいは、自分の意見が取り入れられた商品が販売され、お客様から「おいしかったよ」「綺麗だったから買ってしまったよ」と声をかけてもらった時だと言います。お客様に喜んでいただ

編集後記 男女平等社会は全人類の気持ちが変わらなければ解決することができない。とても難しい問題だと思っています。私は平成生まれで今まで「不平等だ」と強く感じることはありませんでしたが、そもそも自分にはあまり関係のないことだろうと思っていました。ですが社会にでると、思わぬ場所で違和感を感じる事があります。例えば店員さんにふとした時に言われた言葉、すぐに忘れてしまうけど何か引っかかる一言。小さな事ですが人の気持ちが変わればそういった小さな違和感から無くしていけるのではないかなと思っています。



ふり照り焼き おうちで簡単魚料理



おめでたい魚としてお祝いごとにも食される鯛には、内側に魚のような形をした骨が隠れていて、これを「鯛の鯛」といいます。江戸時代の書物にも「鯛中鯛」として登場する縁起物です。実は私たちのお店にも隠れた“価値”が沢山あります。そんな“価値”を鯛の鯛になぞらえて、「西浅の西浅」としてフリーペーパーで紹介・発信しています。



フリーペーパー 西浅の西浅について 1999年12月前身である「うおがし通信」創刊より今年で23年目です



- 各店舗の住所と電話番号リスト